

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	法人独自の災害マニュアルや、浜松市からの風水害のマニュアルの策定が済み、運営推進会議などで地域の防災について話し合いをもつて、暗黙の了解となっているが、実際夜間避難訓練や、停電時の対応など具体的な訓練をおこなったことがない。	夜間を想定した避難訓練や、停電時の連絡方法、具体的な対応、避難所までの移動手帳などいざというときの対応訓練など行って、すべての職員に周知しておく。	①夜間避難訓練を開催する。 ②電話が繋がらない場合の情報伝達方法など確認し、試しておく。 ③社内のどこに何がいくつ確保されているかなど、分かり易く表示する。 ④ランタンや懐中電灯など不足品はそろえておく。	3ヶ月
2	16	ホーム内の8割のご利用者が紙パンツ使用となっている。ほとんど濡れていない紙パンツをごみとして捨てていること、ご利用者からは、「もったいない」などの声が聞かれ、ごみの多さも問題である。	個人個人の排泄について、排泄表などを活用し、個人の排泄状態にあわせて変更していく。	①排泄表への記入をもれなく行う。 ②情報共有を行い使用するものを選定していく。 ③排泄時など尊厳を守りながら介助する方法や、手順などしっかり身に着け、ご利用者各個人に合わせた、統一した介護を実践していくよ	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。